

海域公園地区指定へ向けて 要望書を提出



▲中国四国地方環境事務所広島事務所 藤岡所長（左側）へ要望書を提出しました。

11月11日、瀬戸内海国立公園内における海域公園地区指定へ向けて、椎木町長が環境省へ要望書を提出しました。

これは、世界最大規模とも言われている、町南東沖のニホンアワサンの群生地を守るために要望したもので、指定されれば瀬戸内海では初めてとなり、地区内の指定動植物の捕獲を禁止するなど規制を設けることができます。

国立公園の海域指定は今年4月より始まった制度で、町では2012年度の指定を目指しています。

古典芸能を体感しました

11月25日、文化庁による「子どものための優れた舞台芸術体験」の一環として、東和中学校において生徒が本格的な能楽を鑑賞しました。

当日は、狂言の「盆山」と「附子」の2演目が披露され、また生徒を代表して3年生の嶋津雅俊くんと1年生の中尾匠くんが小舞「兎」を舞うなど、生徒は古典芸能のすばらしさを体感しました。



▲小舞「兎」を披露した、写真左から中尾くん、嶋津くん

みんなで歌って踊りました

11月14日、大島文化センターにおいて、町の子育て支援事業の一環としてケロポンスHappyコンサートが開催されました。

ケロポンスは幼児向けのテレビ番組等で活躍するケロこと増田裕子さん、ポンこと平田明子さんのデュオグループです。

当日は、歌や踊りを披露してくれて、会場に集まった、子ども達は大きな声でいっしょに歌うなど大いにコンサートを楽しみました。



▲ケロポンス：右側がケロこと増田裕子さん、左側がポンこと平田明子さん

グラウンド・ゴルフ大会開催

11月25日、長浦スポーツ海浜スクエアにおいて、グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

今年で、7回目を迎える大会は県内東部から23団体、約300名が参加して行われました。

グラウンド・ゴルフは来年の山口国体のデモンストレーション競技（東部開催・岩国市美和町）として開催が決定しており、周防大島町からも参加する予定です。



指定管理者選定委員会 町長へ報告書を提出

周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等指定管理者選定委員会（河村誠治委員長・山口大学経済学部教授）は10月27日、周防大島町ながうらスポーツ滞在型施設等（周防大島町長浦スポーツ海浜スクエア・周防大島町グリーンステイながうら）の指定管理者の選定に係る報告書を椎木町長に提出しました。

町では12月議会で、優先交渉権者の指定の議決を受け、施設の指定管理者に指定することとしています。

